

「類義語その 8 と関係代名詞その 2」

以前にも少し書きましたが、和製英語について海外では通じない和製英語の幾つか例を英語での表現と合わせて書いてみます。車関係では、以前にハンドル (steering wheel)、ウィンカー (turn signal) を挙げましたが、それ以外では、フロントガラス (windshield)、ボンネット (hood)、サイドブレーキ (hand brake)、バックミラー (rearview mirror)、クラクション (horn)、チェンジレバー (gearshift)、キャンピングカー (motorhome, camper)、オープンカー (convertible)、ベビーカー (stroller)、ガソリンスタンド (gas station) など。

遊園地の遊具関係では、ジェットコースター (roller coaster)、メリーゴーランド (carousel)、ブランコ (swing) など。

食品関係では、アイスクャンディー (popsicle)、アイスコーヒー (iced coffee)、サイダー (soda)、フライドポテト (french fries)。ペットボトル (plastic bottle) など。

その他で思いつくものとして、ダンボール (cardboard)、サラリーマンや OL (office worker)、アルバイトやフリーター (part time job)、そう言えばニートは、Not in Education, Employment or Training の頭文字をとって NEET となりますが、ニートと発音すると、ほとんどの場合 "neat" と聞き取られ「きちんとした、整頓された、身綺麗ななど」の形容詞の意味として受け取られてしまいます。

また、先日実施した英訳の際に気づいたのですが、日本では、web でアクセスする page をホームページ (homepage) としますが、英語では website または webpage と表現しないと伝わらないこととなります。

「誓う」の意味の SWEAR, PLEDGE, VOW, OATH

先月は、「宣言する、宣誓する」の類義語を説明しましたが、今回は、誓うまたは誓いの表現で使われる英語について類義語と違いや用途を整理してみます。

swear は、教師、上司、警察や裁判官などの専制者に対して使い、どちらかというとへりくだった誓いとなったり、「純粋な心」をアピールする時に使います。oath ほどではないが神聖な感じの誓いとなります。

I swear allegiance to the new king. 「新王に忠誠を誓う。」

pledge は、広い意味の国家、人民に対して使い、公的な誓いになり「契約や宣誓」のニュアンスが強く、社会に対して公的に表明する場合に使われます。アメリカ合衆国の「忠誠の誓い」"Pledge of Allegiance" は、アメリカ合衆国への忠誠心の誓いで公式行事で暗唱されるものですが、娘が通っていたカリフォルニア州の小学校では、朝一番に生徒が国旗に向かって左胸に右手をおいて皆で暗唱していました。その内容は、

"I pledge allegiance to the Flag of the United States of America, and to the Republic for which it stands, one Nation under God, indivisible, with liberty and justice for all."

訳としては、「私はアメリカ合衆国国旗と、それが象徴する、万民のための自由と正義を備えた、神の下の分割すべからざる一国家である共和国に、忠誠を誓います。」

vow は、断言や目標とする場合などで、特定されない大衆に向けて使う。「強い意志」をアピールする時に使い、リーダーが自己の方針を訴える時などに使います。

We vow to fight terrorism 「我々はテロリズムとの戦いを誓う。」

oath は、名詞で動詞ではありませんが、神の前での誓い、神との契約、スポーツの選手宣誓など。「神様に誓って」というイメージが強く swear より一層「神性」が強い感じがする語となります。

Charter Oath of Five Article 「五箇条のご誓文」

以前の翻訳作業の中でスリランカ外務省が発行した Affidavit があり、「宣誓供述書」との訳としました。affidavit の意味は、a written statement confirmed by oath or affirmation, for use as evidence in court となっており、「裁判所で証拠として使用するために宣誓書または誓約書によって確認された書面」という意味となります。宣誓と誓約の違いって日本語でもその違いを明確に使い分けしているとは言えませんが、誓約書は自分がある行為を行うことを約束した証拠で、宣誓書は事実の告白や約束したことを証明する証拠となるかと思います。

関係代名詞 (relative pronoun) について

前回は、関係代名詞の全体まとめと限定 (制限) 用法、非限定 (非制限) 用法について書き、今回はその使用例や

関係する話題を書くことにしましたので、それについて。

主格の関係代名詞としては、主文における主語や目的語などの名詞を説明するための追加の情報を関係代名詞節を用いて行います。

A girl **who** is coming to here is eight years old.

I saw a boy **who** was running in the park.

This is the book **which** I bought yesterday.

先行詞のない関係代名詞 **what** の場合は、**what** 以下の文が名詞節となります。

What I said is very important for you.

所有格の関係代名詞は、先行詞の所有格として用いられ、**whose** は、人だけでなく物や動物の場合にも使いますが、口語の場合は、先行詞が人である場合と区別して **of which** が使われる傾向があります。

I know a girl **whose** mother is a famous actress.

He quoted a sentence **whose** meaning I did not understand.

The house **whose** owner is my friend was made from wood.

The house **the owner of which** is my friend was made from wood.

The house **of which** the owner is my friend was made from wood.

最後の3文は全て同じ意味で、表現方法として3通りあることを示しています。

目的格の関係代名詞は、省略されることが多く、また、口頭では **whom** よりも **who** が使われることが多いようです。ただし、先行詞のない関係代名詞の **what** は省略できません。

She is my daughter (**whom**) I invited to the party.

The car (**which**) he had lent me was very cool.

You should keep **what** we promised.

関係代名詞として **that** としなければならない場合と使えない場合がありますので、その例を纏めます。

- ・先行詞に制限的意味の強い形容詞（唯一の意味の **the only** や最上級の修飾語など）がつく場合

He is the only teacher **that** all students want to learn.

She is the most beautiful lady **that** I have ever met.

- ・先行詞に **the same** で同一物を表現する修飾語がある場合

I used the same dictionary **that** my father does.

- ・先行詞に「全部」または「無」の意味の修飾語がつく場合

All the people **that** visited the park were surprised at the spectacle.

There is no one **that** can survive in space without spacesuit.

- ・先行詞が人と物の場合

The traveler and his dog **that** visited the beach enjoyed swimming in the sea.

- ・関係代名詞が疑問代名詞 **who, which, what** の後に来る場合

Who **that** has common sense can do such a thing?

- ・非限定（非制限）用法では **that** は使えないことは前回書きましたが、それ以外でも先行詞に **that** や **those** がある場合は、普通 **that** を使いません。

That book **which** I gave you has a secret message.

接続詞である **as** の関係代名詞的使い方として、**as** の後に主語がなく動詞が来ている場合があります

I am selling my car **as is**. 「私の車を現状のまま売ります。」

Many people are waiting in line at the popular store, **as is common** in Tokyo.

「東京で見られるように人気店では多くの人たちが列を作っています。」

今回は、ここまでにして、次回は **as** の使い方や用法について少し整理するようになっています。